

精密の日2018

参加無料

2018年4月11日(水) 15:20~17:50 | 18:10~懇親会

東京大学 武田先端知ビル 武田ホール(本郷)

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

主催：東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻／工学部精密工学科

協賛：造兵精密同窓会，東大精研会

PROGRAM

開会挨拶

15:20 学科・専攻近況報告

精密工学専攻長／精密工学科長 国枝正典

15:35 学生／大学院生からの研究発表

- 1) 脳機能推定の高度化に向けた神経集団モデルの同定手法
朝比奈昂洋 [卒業論文・精密工学科卒論賞]
- 2) 超長寿命小型pHセンサに関する研究
樋口昌吾 [卒業論文・精密工学科卒論賞]
- 3) 高周波格子基板を利用した超解像イメージングに関する研究
佐久間涼子 [卒業論文・日本機械学会島山賞]
- 4) ナノ集光用小型X線ミラーの提案と作製プロセスの開発
島村勇徳 [卒業論文・工学部長賞(学修最優秀)]
- 5) エバネッセント光干渉造形法によるサブ波長表面構造創製の実験的検討
増井周造 [修士論文・日本機械学会三浦賞]
- 6) 強力超音波応用に適した圧電材料のハイパワー特性評価方法
三宅奏 [修士論文・人間環境学専攻長賞]
- 7) 選択的細胞内気泡化による非侵襲超音波がん治療
石島歩 [博士論文・工学系研究科長賞]

17:10 特別講演

「新アクチュエータ開発の魅力と課題」

東京大学名誉教授 樋口俊郎 (1972年卒)

18:10-19:30 懇親会

会場：東京大学 武田先端知ビル 武田ホール ホワイエ
精密関連研究室学生・造兵精密同窓会会員・精研会会員=無料
一般=2,000円

特別講演 講師紹介

Toshiro Higuchi

樋口俊郎(ひぐち・としろう)

1972年 東京大学工学部精密機械工学科卒業

1977年 東京大学大学院博士課程修了

1978年 東京大学生産技術研究所助教授

1991年 東京大学工学部教授

2015年 東京大学名誉教授

アクチュエータは機械の重要な構成要素であり、その運動を引き起こすための駆動源となるものである。機械の機能はアクチュエータの性能で決まると言っても良い。



既存のアクチュエータの単なる改良では、満たすことができない要求が増してきており、新しい方式のアクチュエータの開発が盛んになっている。

圧電、静電、磁歪、形状記憶合金等の種々の方式のアクチュエータの開発事例を紹介し、アクチュエータの研究の面白さと実用化の難しさを論じる。

東京大学工学部精密工学科／工学系研究科精密工学専攻

Department of Precision Engineering, School of Engineering, The University of Tokyo